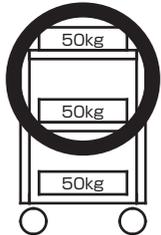


〔ご使用前に必ずお読み下さい〕

■均等耐荷重（等分布耐荷重）

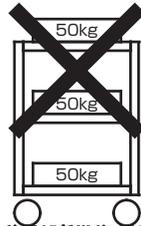
下記イラストは均等耐荷重が1台あたり150kgの場合
(お買い上げの商品によって耐荷重、棚板の枚数が異なりますので
ご注意ください)



床面は平坦なコンクリートでツーリングワゴン1台当たりの均等耐荷重を棚板の枚数で割った重量を上限に各段均等にお載せ下さい。
例)均等耐荷重150kgのワゴン棚板3段仕様の場合は均等耐荷重150kg÷3枚=50kg
1段当たり50kgを上限に各段へ均等にお載せ下さい

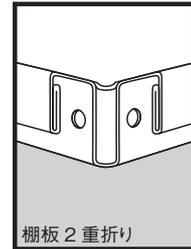
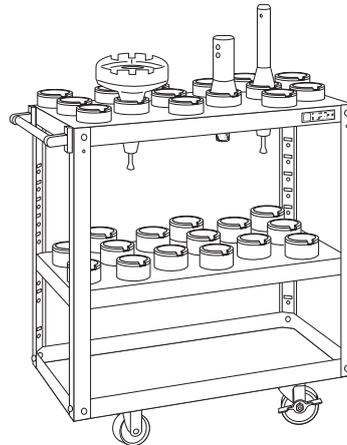


均等耐荷重内でもかたよった積載上段だけ高い荷物の積載

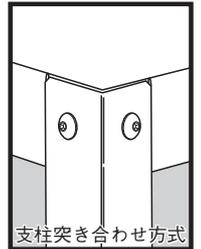


正しい積載であっても床面ジュータン、床面凹凸、段差の有る所での走行

上記の様な使用はしないで下さい。
上記の使用が必要な場合は弊社係員までお問い合わせ下さい。



棚板2重折り



支柱突き合わせ方式

●棚板コーナー部は、サカエ独特の支柱側面突き合わせ型及び、2重折り構造のためぐらつきが無く、また、棚板の強度も強く、非常に堅牢です。

●1台あたりの最大荷重

品番	均等耐荷重
EMRタイプ	150kg
EKRタイプ	200kg

積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りすると製品破損の恐れがあります。

※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意 ————— 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

警告

誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■耐荷重以上の荷物を置かない。

ワゴンが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。

■足をかけたり、よじのぼったりしない。

転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。

■不安定な場所に置かない。

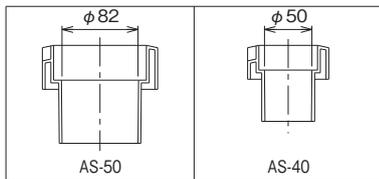
ワゴンが倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

注意

誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■EMR-S□□□□又はEKR-S□□□□の品番商品については下記の寸法図以上のツーリングは下向き保管をしないで下さい。

転倒・落下により、けがや破損する恐れがあります。



■作業台や運搬車として使用しない。

転倒・落下により、けがをするおそれがあります。

■屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれたものを置かない。

ワゴンが腐食し、倒壊するおそれがあります。商品がぬれた場合は必ず乾いたやわらかい布で拭きとってください。

■壊れやすい物、危険物、薬品等は収納しない。

破損してけがをしたり、健康を害するおそれがあります。

■傾斜地では使用しない。

ワゴンが暴走して転倒したり、人や物に当たり、けがや破損するおそれがあります。

■移動時は、ワゴンが傾かないよう、ゆっくり運ぶ。

荷物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。

■高温になった物を乗せたり、火気の近くに置かない。

やけど、火災の原因になったり、変色、変形の原因になります。

■取付けビスがゆるんだり、外れたままで使用しない。

収納物の落下などにより、けがをするおそれがあります。

■子供の手の触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。

ワゴンに触れて倒れたりして、けがをするおそれがあります。また、連結部・内部の切断面、および収納物によって、指をけがするおそれもあります。

■かたよった収納はしない。

バランスを失って、ワゴンが転倒するおそれがあります。

■棚板のつぎ目やウラ側、隙間に指を入れない。

切断面や取付けビスの先端などで、けがをするおそれがあります。

■改造や無理な修理、分解はしない。

取付ミスなどにより、ワゴンが不安定になり危険です。特別なご使用をされる場合は購入店へご相談下さい。

■変形・破損したまま使用しない。

転倒・落下により、けがをするおそれがあります。

■キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。

■消耗品には寿命があります。

キャスター部や可動部等に異常音等（損耗現象）が発生した場合購入店へご相談下さい。

■直射日光の当たる所や温度・湿度の著しい所での使用は避けて下さい。

変色や変形の原因となります。

■消耗品の交換は購入先を通じて御注文下さい。

**重要：キャスター取付前にフットブレーキを取付けて下さい。
(フットブレーキ説明書はフットブレーキに付属しています。)**

部 品 明 細

番号	品 名	1台分数量
①	支 柱	4
②	底 棚	1
③	中棚 またはツーリング中棚	1
④	ツーリング天棚	1
⑤	取 手	1
⑥	取手ブラケット	2
⑨	六角穴付ボタンボルト (M8×15 L)	14
⑩	六角穴付ボタンボルト (M8×22 L)	4
⑪	平座金 (M8用)	14
⑫	フランジナット (M8)	34
⑬	六角棒レンチ (呼び5)	1
⑭	中棚取付金具	4
⑮	六角穴付ボタンボルト (M6×12 L)	4
⑯	平座金 (M6用)	4
⑰	六角棒レンチ (呼び4)	1
⑱	キャスター (自在・固定)	4
⑲	十字穴付皿小ねじ (M8×18 L)	16

※ボルト・ナット等の数量は、余る機種があります。

組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。

※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※棚板の向き(「 \square 」又は「 \perp 」)および中棚の位置はあらかじめ決めておいて下さい。

※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

組み立てかた

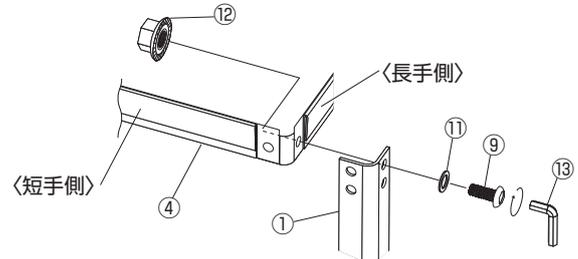
■ひずみなく製品を組み立てるために

●組み立て時は、ネジを軽く締めておきます。

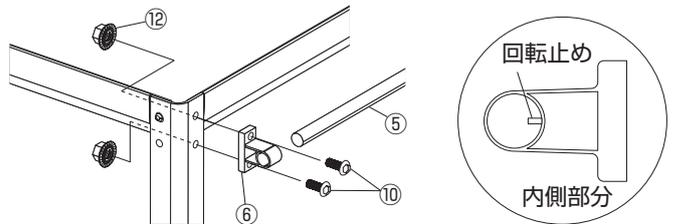
●完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、ボルトを強く締めつけます。

標準仕様

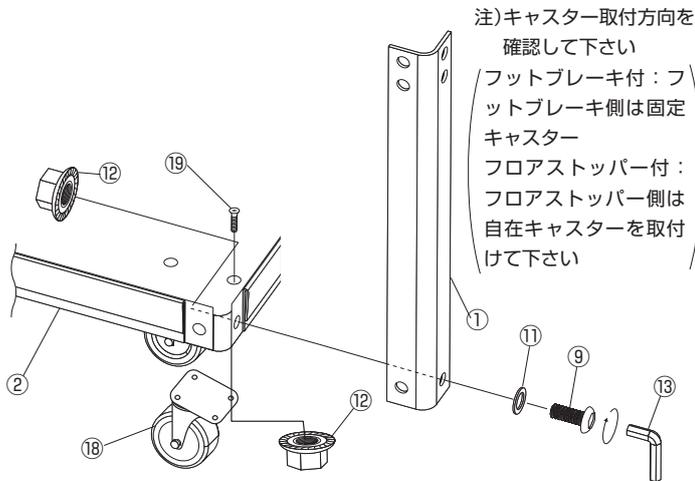
- ③ 支柱①(4本)にツーリング天棚④を六角穴付ボタンボルト⑨、平座金⑪、フランジナット⑫で仮止めして下さい(6ヶ所)。
(取手を付ける部分<短手側>は止めないで下さい。)



- ④ 支柱①に取手ブラケット⑥の内1個を、六角穴付ボタンボルト⑩、フランジナット⑫で仮止めして下さい。
次に取手⑤の切欠部分を取手ブラケット内の回転止めに合わせはめ込みます。
最後にもう片側の取手ブラケット⑥を反対側にはめ込み、六角穴付ボタンボルト⑩、フランジナット⑫で仮止めして下さい。



- ① 底棚②にキャスター⑱を十字穴付皿小ねじ⑲、フランジナット⑫ではずれないようにしっかりと締め付けて下さい。
底棚②に支柱①(4本)を六角穴付ボタンボルト⑨、平座金⑪、フランジナット⑫で仮止めして下さい(8ヶ所)。
※六角穴付ボタンボルト⑨は付属の六角棒レンチ⑬で仮止めして下さい。



- ② 支柱①のあらかじめ決めておいた中棚の位置に中棚取付金具⑭を引掛けます。次に中棚③を、六角穴付ボタンボルト⑮、平座金⑯で仮止めして下さい。(4ヶ所、2段式は除く、4段式はこの作業を繰り返して下さい。)
※六角穴付ボタンボルト⑮は付属の六角棒レンチ⑰で仮止めして下さい。

